

2025

SUPER FORMULA
RACE REPORT

Rd.6-7

7.18 [fri] - 20 [sun]

[place] 富士スピードウェイ (静岡県小山町)

[weather] sat 晴れ / sun 晴れ

[spectators] 53,400人 (sat 22,900人 / sun 27,300人)

FUJI SPEEDWAY

Rd.1-2 SUZUKA CIRCUIT >>>>>>>>>> MAR 07-09

Rd.3-4 MOBILITY RESORT MOTEGI >>> APR 18-20

Rd.5 AUTOPOLIS >>>>>>>>>>>> MAY 17-18

Rd.6-7 FUJI SPEEDWAY >>>>>>>>>> JUL 18-20

Rd.8 Sportsland SUGO >>>>>>>>>> AUG 09-10

Rd.9-10 FUJI SPEEDWAY > >>>>>>>> OCT 10-12

Rd.11-12 SUZUKA CIRCUIT >>>>>>>>>> NOV 21-23



TOM'S



2025年全日本スーパーフォーミュラ選手権 Round6・Round7 が 7 月 19 日（土）・20 日（日）に富士スピードウェイで行われた。前戦で今季初優勝を飾った坪井翔は、得意とする富士大会で躍進。Round6 では僅差でポールポジションを逃すも、決勝で逆転して優勝。Round7 はポールポジションから 3 位フィニッシュとなったが、ランキング首位に躍り出た。サッシャ・フェネストラズも課題の予選ペースを改善し、Round7 では 5 位に入ってポイントをゲットした。

VANTELIN TEAM TOM'S

1

SHO TSUBOI

Driver 坪井 翔

Rd.6	
予選	2 位
決勝	1 位

Rd.7	
予選	1 位
決勝	3 位

Rd.6	予選 Q1	P1 (A Gr) / 1'22.570
	予選 Q2	P2 / 1'22.438
	決 勝	P1 / 1'24.396 <<< Fastest
Rd.7	予選 Q1	P5 (B Gr) / 1'23.359
	予選 Q2	P1 / 1'22.940
	決 勝	P3 / 1'24.973

VANTELIN TEAM TOM'S

37

SACHA FENESTRAZ

Driver サッシャ・フェネストラズ

Rd.6	
予選	14 位
決勝	13 位

Rd.7	
予選	8 位
決勝	5 位

Rd.6	予選 Q1	P7 (B Gr) / 1'23.320
	予選 Q2	-
	決 勝	P13 / 1'24.624
Rd.7	予選 Q1	P3 (A Gr) / 1'23.354
	予選 Q2	P8 / 1'23.251
	決 勝	P5 / 1'25.176

Rd.6 予選 天候:晴れ/気温:28℃/路面温度:38℃ 決勝 天候:晴れ/気温:33℃/路面温度:49℃

QUALIFYING



前戦のオートポリスから約2ヶ月のインターバルを経て開催された今大会。6月に行われた公式テストでのデータも参考にし、2台がトップを目指した。晴天のなかで行われた予選では、昨年富士で行われた3レース全てを制した坪井が速さを披露。Q1Aグループでトップタイムを記録し、流れ良くQ2に進み、1分22秒438を記録したが、ライバルに0.021秒及ばず2番手となった。一方のフェネストラズはQ1Bグループに出走した。予選ペースの改善を課題に掲げていたが、僅差でライバルに敗れグループ7位。14番グリッドからポイント獲得を狙う。

RACE



36周で争われたRound6の決勝レース。2番グリッドの坪井は、1周目からライバルと激しいポジション争いを展開。オーバーテイクシステムを作動させ、2周目に入るメインストレートでトップに躍り出た。その後も好ペースで周回を重ね、23周目にタイヤ交換を完了。一時ライバルに逆転されるも26周目に逆転し、今季2勝目となるトップチェッカーを受けた。一方、フェネストラズはスタートで順位を下げるも、終盤までコース上に留まる作戦でポジションアップを図り、13位でフィニッシュ。翌日のRound7で入賞を目指す。

Rd.7 予選 天候:晴れ/気温:30℃/路面温度:46℃ 決勝 天候:曇り/気温:31℃/路面温度:50℃

QUALIFYING

気温30℃を超える暑さのなかで始まったRound7予選。前日に続いて連勝を狙う坪井だが、Q1Bグループでは予想外に苦戦を強いられ、5番手でQ2進出となった。限られた時間で細かなセッティング変更を行い、Q2では唯一1分22秒台に入るタイムを記録し、今シーズン初のポールポジションを獲得した。前日は予選で苦戦したフェネストラズだが、Q1Aグループではトップに0.08秒差に迫る3番手タイムでQ2進出。Q2でも力強い走りをみせ、8番グリッドを手にした。



RACE

全車に搭載されている計測器をレース前に急ぎよ交換することになり、当初の予定より42分遅れで始まったRound7 決勝(41周)。ポールポジションの坪井はスタートで2番手に下がるも、すぐに順位を取り戻しトップでレースを進めた。18周目にセーフティカーが導入されたタイミングでタイヤ交換を済ませたが、先にピットインしていたライバルに逆転され2番手に後退。レース再開後はトップを奪還するべく、オーバーテイクシステムを全て使い切るなど、ライバルたちと激しいバトルを見せたが、最終的に3位でチェッカーフラッグを受けた。フェネストラズは、途中のピットストップで順位を上げることに成功。順調なレース運びを披露し、最終的に5位入賞を果たした。



TOM'S

1

10月の富士大会に向けて、
課題が明確になりました。

ドライバー 坪井 翔

Round6では1周目にオーバーテイクシステムを使って勝負に出たことで、すぐにトップに立つことができました。あそこがこのレースのターニングポイントでした。その後もレースペースは良く優勝できました。Round7の結果に関しては十分だと思っています。連勝できそうかなと感じていましたが、そんなに甘くはなかったです。10月の富士大会に向けて課題も見えたので、それも含めてしっかり準備をしていきたいです。

37

予選ペースは良くなったけど、
まだ十分ではない。

ドライバー サッシャ・フェネストラズ

6月の公式テストで得られたデータや、僕のこれまでの経験も盛り込んだセッティングで今回は挑みました。予選に関してはRound7でQ2に進出できて、改善できた部分もあるけど、まだ十分ではないと感じています。そこは引き続き取り組んでいかないとはいけません。決勝ペースも今回は良かったですが、大会ごとで調子にバラつきがあるので、もっと安定して戦えるようにしたいです。



監督
館 信秀

坪井に関してはRound6の優勝は、本当に完璧なレースでした。Round7は勝てなかったのは残念でしたけど、ライバルと素晴らしいバトルを見せてくれて、久しぶりに面白いレースだったと思います。

今大会ではサッシャがRound7でポイントを獲得してくれたことが何より嬉しいです。良い兆しは見ていたのですが、Round6では後方でのレースになっていたので、坪井が好成績を残しても嬉しさと悔しさが半分ずつといった状況でした。2台揃ってポイントを獲得したのは良かったです。

次戦も、たくさんの応援をよろしくお願いいたします。



Vバンテリン

